

手術医療の効率性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2012年6月18日～2031年3月31日

〔研究課題〕 手術医療の効率性に関する研究

〔研究目的〕 日本の医療制度は超高齢社会の到来・国民患者の医療への期待の変化・医療費増大などが起こり、制度疲労をきたしている。その解決に単なる弥縫的制度改革では間もなく限界に達するのは明らかである。まずは現場の医療実践を客観的に見直し、医療の効率性を科学的に検証し、そこからあるべき医療の姿を設定し、そこへ到る具体的道筋を提示することが必要である。その中でも医療資源や人材の効率的配分利用は至上命題である。

〔研究意義〕 医療以外の産業における効率性の科学的測定は、経済学・経営学・工学の分野で2000年以降急速に発展してきた。すでに確立された手法としてはデータ包絡分析や確率的フロンティア分析などが存在し、その応用発展型も盛んに研究されている。これを日本の手術医療に応用し、医療資源の非効率（無駄）を発見し、それを排除した理想的な医療とそこへの道筋を提言するのが本研究の意義である。

〔対象・研究方法〕 本研究は附属病院中央手術部で麻酔科管理下に2017年度～2022年度に行われた手術症例を対象とする後ろ向き研究である。手術記録情報及び診療報酬請求情報をもとに、手術時間と手術助手人数をinputとし、手術診療報酬請求額をoutputとして、それぞれのdecision making unit(DMU)ごとに合算してその効率性を確率的フロンティア分析法またはデータ包絡分析法を用いて計算する。算出された効率性を術者特性・患者特性・診療報酬体系などで分類しその特徴を解析する。各データは患者および術者に関して個人情報がかからないように加工し、その合算データのみを分析には使用する予定である。

〔研究機関名〕 帝京大学医療情報システム研究センター

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は既存記録の閲覧および加工されたデータの解析なので、患者の手術適応・方法・選択に一切影響しない。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：中田善規 職名：センター長
所属：帝京大学医療情報システム研究センター
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学内 TEL：03-39641-1211(代表) [内線 7248]